

子どもも親も先生も わかって楽しい算数・数学

算数・数学 秋の実践交流会

今回のテーマは、“特別支援教育”です。日頃の思いや悩み、実践など一緒に交流しましょう！

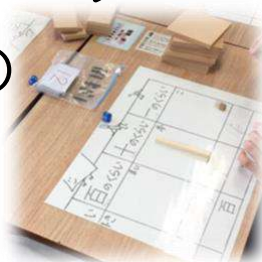
日時 **2022年11月20日(日)**
13:00~17:00 (受付 12:30 から)

会場 彦根東地区公民館 もしくは 各自宅 (Zoom)
(彦根市大東町 1-26)

主催 「しが算数・数学の会」

代表 森原則男 (前京都橘大学講師)

数教協の実践をいっぱい取り入れた実践記録を
教えていただきます。お楽しみに♪



2017年数教協全国大会より

日程

時間	12:30 ~ 13:00	13:00 ~ 14:20	14:30 ~ 16:20	16:30 ~ 17:00
内容	受付 開会	講座 親の立場からの実践記録 講師 拝郷 万理 氏	実践交流 <ul style="list-style-type: none">・折り紙数学 (澤田)・特別支援教育の実践トーク (國廣、大塚、北川)・教材・教具の紹介など	フリー 交流

参加費 1000円 (ただし、学生は半額) (オンライン参加は無料)

※感染対策として、検温・マスク着用・手指消毒等を行います。マスクは会場に入る際に、新しいもの (持参可) と交換していただきます。また、感染状況によっては、中止する場合があります。

申し込み方法 以下のサイト (URL) から申し込みください。

<https://kokc.jp/e/f1849bddf2b8e9c3c611e8e391622e08/>

※申し込みの際には、お名前、メールアドレス等をお伝えください。申し込みいただいたメールアドレスに「ZOOMのURL、ID・パスワード」を送ります。



サイトのQRコード

問い合わせ先：事務局 (彦根市立稲枝中学校 北川智明)

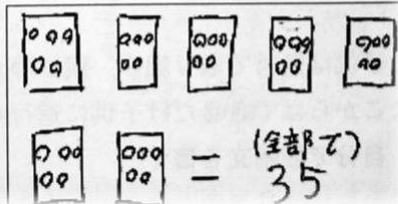
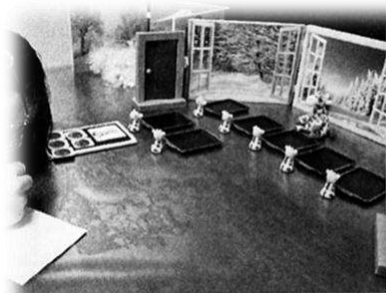
電話 090-9376-9914 メール ami.25shiga@gmail.com



講師紹介

拝郷 万理 様 (近畿地区数学教育協議会・奈良)

数教協（数学教育協議会）で学び、家庭で娘と実践を始めて8年になります。「娘に残してやりたい、生涯にわたって使える算数の力は何だろう？」と常に問いながら行っています。娘にとって「考えるって、難しいけど、楽しい」と思えるような実践を続けたいと願っています。



多くの知的障害児の保護者は、家庭で子どもの算数の宿題と取り組む中で、「無理矢理教え込む」「待てない」などの問題に直面します。（中略）「やっぱり家では算数はできない」となってしまいうケースが多いです。一方、知的障害児の算数に取り組む中で「子どもが思考している姿を見て、待てる、楽しめる」となると、家庭での算数は、学校ではできないことが可能になります。「1問に1時間かけてもいい」「教具をふんだんに取り入れ、子どもに合ったストーリー性のある場面を作って一緒に楽しめる」算数ができます。

家庭での実践は、いろいろな失敗を繰り返してきた日々でもあります。（中略）知的障害の子どもは「無理に覚えたこと、ただ教えられたことは、当たり前のように忘れてしまうのだ」という事例に何度も遭遇しました。一方、じっくりと手を使って操作した課題、絵を描くなど自分の頭で考えて取り組んだ課題、自分で見つけた方法で解決した課題の場合、その課題で得た力は、時間が経過しても残っています。



家庭でお金の学習を続けるなかで、「やればやるほど、お金の学習の難しさ」がわかり、正直なところ、「どこで諦めようか？」と思いながらの日々です。しかし、「買い物ができて、嬉しそうに帰ってくる」娘の様子を見て「一歩でも前進させたい」との願いがあります。まずは、教師も、親も「お金の学習」はとても難しいと理解したうえで「でも、諦めずに、やれることを続けてみる」ことが大切だと思います。